

科目名 Course Name	子どもの保健 Child health						
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	長谷川久美子						
連絡先(質問等)	講義棟1階非常勤講師室						
必修/選択	選択(保育士養成課程必修)						
関連 DP	DP4,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>子どもの発育発達過程や特性に関する内容を体系的に学び、多様な背景をもつ子どもたちを心身ともに健康に豊かに育てるために必要な基礎的・基本的な知識を修得する。</p> <p>①子どもの心身の健康増進と保健活動の関わりについて説明することができる。</p> <p>②子どもの身体発育及び生理機能・運動機能の発達と保健について述べることができる。</p> <p>③子どもの健康状態の観察、体調不良時の把握について具体的に述べることができる。</p> <p>④子どもの疾病の予防及び適切な対応について説明することができる。</p>						
授業の方法	主にプリント資料と板書による講義形式で行い、テキストに記載されているコラム・図表・写真及び映像機器を活用する。次週授業のねらいとテーマを予告し、予習・復習の自己学習に役立てられるようにする。必要に応じて課題の提出とプレゼンテーションを行う。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	<p>①子どもの健全な育ちを支える様々な保健活動の基本的な知識を修得し、子どもの置かれている状況を把握して健康教育・保健指導に役立てることができる。</p> <p>②子どもの発育発達に影響する因子を列挙することができ、健康状態を正しく判断することができるようになる。</p> <p>③専門性の高い医療知識を参考に体調不良児の早期発見や疾病の予防に修得した知識を活用することができるようになる。</p>					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト(授業スケジュールの中間)、定期試験実施。授業時間内にフィードバックまたは各自フィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書:遠藤郁夫他「子どもの保健」学建書院 母子健康手帳 参考図書・参考資料:授業の中で適宜指示またはプリント資料を配布						
履修上の留意点やルール等	教材を必ず準備し課題意識を明確にして授業に臨む。提出物は期限厳守する。事前・事後学習時間の目安は各回180分相当とします。						
担当教員の実務経験	職種:看護学校専任教員・看護師 職歴:通算13年 看護教育や臨床実習指導の経験を活かし、専門性の高い保育保健の授業内容とする。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	教材を必ず準備し、疑問点・不明な点があれば積極的に質問する等向上心を持ち学習に取り組む姿勢がみられる。			10	
レポート/作品	出題者の意図に合致し、内容構成もよく課題要件を満たしている。			10	
発表					
小テスト	設問内容の要件を満たし授業内容が正確に表現されている。			10	
試験	記述式を含む設問内容の要件を満たし、授業内容が正確に表現されている。定期試験の評価基準 C (60-69)以上とする。			70	
その他					
合計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスの概要説明、学習への取り組み、レポートの提出等)
	事前・事後学習	保育所保育指針解説書、母子健康手帳の記載内容
2	授業内容	保健活動の意義と目的、子どもの保健で扱う範囲
	事前・事後学習	他職種との連携
3	授業内容	健康の概念と健康指標—合計特殊出生率の年次推移、子どもの保健統計
	事前・事後学習	WHO の「健康の定義」と健康の捉え方
4	授業内容	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題
	事前・事後学習	社会の変遷と現代の子どもの健康
5	授業内容	子どもの身体発育—標準的な子どもの身体発育、発育に影響を与える因子
	事前・事後学習	時代の推移と子どもの身体発育値の変化
6	授業内容	子どもの運動機能の発達—発育の原則と特徴、スキヤモンの発育曲線
	事前・事後学習	運動通過率、発達検査
7	授業内容	子どもの生理機能の発達—脳からみた「健やかな育ち」、呼吸・循環・体温
	事前・事後学習	ポルトマンの「生理的早産」
8	授業内容	健康状態の観察と体調不良時の把握—観察項目、健康状態把握の方法
	事前・事後学習	健康診断
9	授業内容	体調不良時によく見られる症状—発熱・咳・嘔吐・下痢その他の症状
	事前・事後学習	子どもに多い症状
10	授業内容	身体発育の評価—身体計測、発育指数、発育曲線
	事前・事後学習	身体発育の評価方法
11	授業内容	感染症の基礎知識—子どもの免疫の発達、予防接種
	事前・事後学習	感染症の発生
12	授業内容	知っておきたい子どもの感染症—ウイルス感染症・細菌感染症
	事前・事後学習	保護者との情報共有
13	授業内容	アレルギー疾患—アレルギー疾患の種類、アナフィラキシーとその対応
	事前・事後学習	アレルギー反応、エピペンの使い方
14	授業内容	そのほかの疾病—子どもの慢性疾患の特徴と適切な対応、支援制度
	事前・事後学習	学校生活管理指導表
15	授業内容	授業のまとめ
	事前・事後学習	重要ポイントの振り返り